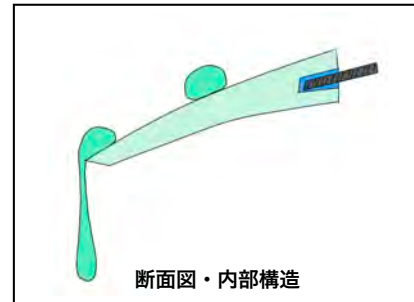
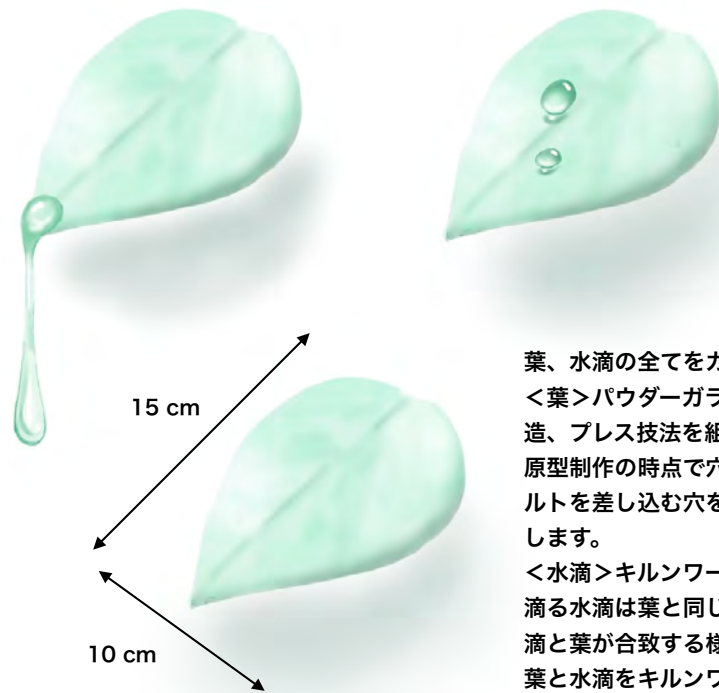


作品の設置方法を選んで、チェックをつけてください

☐ 台座置き☒ 壁付※台座置きの作品は台座のサイズも分かるように記入すること
※台座のサイズは幅 600 × 奥行 400 × 高さ 1000mm 以内

作品 および 設置イメージ・説明・制作方法



断面図・内部構造

葉、水滴の全てをガラスで制作します。個数は40～50枚です。

<葉>パウダーガラス、カレットガラスを組み合わせでキルンワークで鑄造、プレス技法を組み合わせで制作します。

原型制作の時点で穴がある原型を制作し、鑄造と同時に壁付けのためのボルトを差し込む穴を成型します。鑄造後はコールドワークにて成型、研磨します。

<水滴>キルンワークのスランプ、サギングにて水滴を制作します。

滴る水滴は葉と同じ石膏原型を制作し、それに沿わせてサギングを行い水滴と葉が合致する様にします。

葉と水滴をキルンワークのタックフューズを行うことにより熔着します。

<壁展示>

葉の部分に開けた穴にボルトを挿入してシリコンで接着し、1枚ずつ壁付けにします。

作 品 名	雫		
素 材	ガラス		想定重量 20 kg
作品サイズ	横幅 1400	× 奥行き 200	× 高さ 2900 (単位：mm)
作品コンセプト			
マンションが建つ地名の由来、柿の木を思った時、幼い頃の記憶が蘇りました。祖母の田舎にて、見上げた大きな柿の木から幾つもの水滴が降ってきて、太陽に透ける緑の葉っぱがキラキラと風に揺れ、とても美しかった思い出です。 この思い出から着想し、かつてこの地に住んだ人々も同じように美しい景色を見ていたかもしれないと思い、今回の作品をデザインしました。 このマンションに居住される方々にも作品を見て、かつてあったであろう美しい景色を感じてもらえたら嬉しいという思いを込めました。 一部ファミリー向けで子供さんもこのエントランスを通られることを想定し、子供が見上げる目線の高さに作品を設置するデザインにしました。 太陽に透ける葉を表現するためにガラス鑄造の技法を用い、薄く緑に透ける葉を制作します。壁に映るガラスの影と作品自体の透明感のコントラストも楽しんで頂きたいと思います。			

過去の制作作品

